

令和5年度 こども園評価について

朝来市立生野こども園

A：達成している(80%以上) B：概ね達成している(70%以上) C：あまり達成していない(50%以上) D：達成していない(50%未満)

評価項目		評価	今後の改善について	自己評価の妥当性 (学校関係者評価の意見等)
園 運 営	1 保護者や外部に教育方針や活動内容をわかりやすく伝えている	A	A 教育方針や活動内容など、できるだけ可視化して分かりやすく行ってきたが、さらにiPad等を用いて行っていききたい。 地域とのかかわり方や特色ある教育活動、防災安全等、職員全員で考えていききたい。	たくさんの行事をされて、今はコロナインフルエンザとある中で、大変な思いで活動されている。 以前の参観日で、保護者や祖父母が折り紙などを子どもと一緒に教えてもらったことがあった。そういった活動を取り入れてはどうか。
	2 保護者参観・行事・面談・園だより等開かれた園づくりをしている	A		
	3 P T Aや地域との連携を図り、特色ある教育活動に取り組んでいる	B		
	4 園児の健康の把握や健康管理等適切な指導や対応ができている	B		
	5 防災・不審者の危機管理等、安全指導に努めている	B		
	6 園内の環境美化に努め、施設・設備等の安全管理を適切に行っている	A		
	7 園運営に教職員の意見が反映されている	A		
	8 教職員の資質能力を高めるための研修を十分に行っている	A		
教 育 課 程	1 教育目標が自園の実態を把握し、園児や保護者のニーズにあった内容である	B	A 地域との交流については、今年度は人とかかわるといよりは建物や歴史などに触れる機会をもった。今後は、人とのかかわりに関して工夫していききたい。 小学校の1年生のクラスだよりを今年度はいただいて小学校の様子がよく分かったので続けたい。	老人との交流もあったがコロナ禍で中断され、それから行われていないと思う。以前のような交流を行うことも難しくなったと思う。
	2 園児の発達に即し、遊びを中心とした体験的な教育に取り組んでいる	A		
	3 生きる力の基礎を身につける指導・工夫をしている	A		
	4 心の教育・道徳性の芽生えを養う指導や工夫をしている	A		
	5 地域を活かした特色ある教育活動を行っている	B		
	6 幼(保)・小・地域等との交流や連携を行い、保育・教育活動に活かしている	B		
	7 指導計画・行事の作成にあたっては教職員で話し合っている	A		
保 育 活 動	1 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に関心をもてるよう工夫している	A	A 同学年であっても発達の個人差が大きく一人一人に対するかかわり方が難しくなってきている。さらに一人一人の発達に応じた保育を工夫していききたい。	以前は地域の畑を借りてさつま芋作りなど行っていたが、最近ではできない状況でもある。園庭で畑づくりをしているのは良いと思う。
	2 園児一人一人の発達を明確にし、共に育ち合える保育になっている	B		
	3 生命を大切に作る心や、規範意識が芽生えるよう指導している	A		
	4 自分の思いを言葉等で伝え、相手の思いに気づく力や、伝え合う喜びを培っている	A		
	5 健康・安全に必要な習慣や態度が身につくよう取り組んでいる	A		

※「絵本の読み聞かせをし、本に親しむ指導をしている」等、各園で独自に取り組んでいるものは各園で項目を設定し、評価する